

## 校内研修の年間計画の工夫⑤

## 中学校

特別支援教育に関する内容を  
年間にわたって実施した取組

## 活用した資料

校内研修プログラムP 4

－校内研修プログラムの年間の活用例－

## ○ 実践の概要

	時 期	内 容	成 果
校内研修 プログラム	4 月	校内研修プログラムのシートを活用した実態把握	全教職員の理解が進み、日々の授業実践に生かすことができるようになった。
	通年	板書での工夫点や配慮事項を全校で共有した授業実践	生徒が学習への見通しをもち、主体的に学習することができるようになるとともに、安心感をもって学習することができるようになった。
校内支援委員会	年 7 回	校内研修プログラムを活用した実態把握に基づく、特別な教育的支援を必要とする生徒の個別の指導計画の作成	指導や支援の具体的な手立てやかかわり方、配慮についての共通理解が図られ、全教職員が同じスタンスで指導・支援を行うことができた。
特別支援教育 パートナー・ ティーチャー 派遣事業	年 3 回 10月、2 月	授業における生徒の観察やケース会議を通して、障がいの程度に応じた適切な指導・支援の在り方についての助言	小学校と中学校の連続性を踏まえた個別の教育支援計画の整備が進み、保護者の理解を得ながら指導や支援の充実を図ることができた。
特別支援教育 に関する研修	12月、1 月	高等支援学校の視察、通常の学級における特別支援教育についての研修の実施	就労を見通した指導・支援の在り方や発達障がいに関する理解が進み、日常の指導や支援の充実を図ることができた。

本校では、上記のとおり、特別支援教育に関わる研修を年間計画に位置付けて取り組んでいます。

## ○ 実践の成果

年間を通して計画的に特別支援教育に関わる研修を実施したことにより、全教職員が、特別支援教育の基本的な知識や技能等についての理解を深めることにつながりました。

その結果、学校として、特別な教育的支援を必要とする生徒への一貫した指導・支援の充実を図ることができました。